

如斯概シテ事業不振ノ状態ナルニ今直ニ使用船ヲ  
減員セントスルカ如キ模様ヲ見受けラレズ寧ニ現状維  
持ヲ持続セント努力セラルルモノ、如シ

三菱三曾社

三菱造船株式会社 神戶造船所 三菱内燃機株式会社  
神戶製作所 又 三菱電機株式会社 神戶製作所

新目下使用船之數ハ(十有本現至)

造船所 三年度及同期 五、三六七名 十三年度及四九三四名

内燃機 〃 〃 六五一名 〃 六三三名

電機 〃 〃 一、六三名 〃 一、六三名

合計 〃 〃 七、八一七名 〃 六、七二三名

ニテテ半リ電機製作所ノ三菱電機器製作所

多忙ニシテ船工數ニ増減ナク前年通り操業ヲ持続シ

而シテ又相昔年續テ揚々得ル見込ナルモノ、如シ

而シテ一方姉妹ノ係リテ造船及内燃機工場ノ状態ヲ

見ルニ海軍ノ係作業減額ノ結果竣工又自然消

滅ニ任シ漸減ヲ見ワラルカ造船所ハ本年夏以來

竣工ニ与リテ作業ナク毎日四五百名ノ對シ出勤者ニ日

給ノ半額ヲ給シテ退場セシメタル程ニシテ目下又頻ル

閉散ナルニ来ルルキ好況時ヲ予想シテ積極的ニ竣工ノ

整理ヲおサス事業ヲ維持維持シ居リ

目下ノ主要作業ヲ見ルニ新規建造中ノ多クハ潜水艦

ニ隻及記中ノ小汽船ニ隻ノ其、他ハ一時的ナル修繕

船十隻ヲ有スルニシテ到底永遠スヘキモノニアラス

會社當局ニ將來ヲ歎ル疑懼シ居ルニ又差爲リ使用